

地域おこし協力隊だより

「自然の造形」

観光協会勤務

吉田 龍ノ介

皆さんこんにちは。寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

私の生まれは神奈川県なのですが、寒い時期になると毎朝布団から出るのに難儀してました。ところがもつと寒いはずの滝上町では、案外すんなり起きられています。大きな暖房機器とタイマーのお陰でしょうね。ここ最近では、暖かい部屋でアイスを食べるのが一番の贅沢になりました。

さて、2月に入りますと、オホーツクエリアの冬観光の目玉でもある、流水シーズンが本番を迎えます。

流水観光に合わせ、世界中からこの地区に人が集まり、私が勤務する観光協会にも、多くの方が観光情報を求め立ち寄ります。

道路情報や、紋別までの道のり、食事場所や流水情報等様々な事をご案内するのです



▲雪景色をバックに記念撮影

が、滝上町の冬に観光する所は？と聞かれることがあります。

そういった方には錦仙峡にある洛陽の滝をオススメしております。

新緑や、紅葉の時期も非常に美しいのですが、冬の渓谷もまた一興。洛陽の滝が寒さにより自然氷瀑した姿は何とも言えない芸術作品のように思えます。

オホーツク海の流水は遠く見えないことがあります。こちらは冬時期いつ行っても見れるというのもウリの一つ。

また、洛陽の滝展望台までの道のりが除雪されており、ホテル渓谷の駐車場裏から簡単にアクセスできます。

町民の方でも意外と冬の洛陽の滝までは一度も行ったことないという話も聞きます。ぜひ、ご友人などと一緒に滝上の冬の造形を楽しんでみてはいかがでしょうか？



▲冬の洛陽の滝

▼問い合わせ先

まちづくり推進課

☎29-2111(内254)

国有林へのスノーモビルの乗入れはご遠慮ください！

○国有林では、樹木や高山植物・野生鳥獣の保護、遭難事故防止の観点などから、スノーモビルの入林を認めていません。

○滝上町では特に浮島峠での乗入れが多く、浮島湿原の動植物への悪影響、天塩道立公園の規制区域への乗入れや、遭難事故の発生が懸念されます。

○ご理解、ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

網走西部森林管理署
西紋別支署
☎29-2231



安全な釣りを楽しむために

冬季の岸壁は滑りやすく、サラマ湖水面上は氷の薄い場所や春先の融け始めなどで落水する場合がありますので、釣りをする際には、転落や落水に十分注意するとともにルールやマナーを守り、次の自己救命策3つの基本を心掛けて安全な釣りを楽しみましょう。

【自己救命策3つの基本】

- ①ライフジャケットの常時着用（浮力の確保）
- ②携帯電話などの連絡手段の確保（防水型・防水パック活用）
- ③海のもしもは118番（緊急電話の活用）

【問い合わせ先】

紋別海上保安部
☎27-5250

